

長畑ひろのり News vol.143



(C) 2013 Kohama Studio

9月定例議会における質問②

定例議会の報告です。内容は、四條畷市個別施設計画に含まれている四條畷南中学校跡地（以下、南中跡地）の市民ホールについてです。参考として、市の作成したイラスト（わかりやすい様に私が手を加えています）を右下へ載せています。

・市民ホールの計画について（一般質問より）

【長畑質問】活断層の問題がクリアできるのであれば、南中跡地に市民総合センターを含む複合施設を建てる案については良くできている。特に南中跡地にこれだけの施設を作れば、田原からのバスルートはこの複合施設で停まり、その後は四條畷駅へ。忍ヶ丘駅を利用しないことで田原地域一番の課題であるバスの利便性が良くなるのは間違いなく、田原地域に住まわれている方の複合施設利用率も上がり、田原地域の方の満足度も上がる。

また、複合施設を作ることでバスの行き交う東中野交差点から南下する旧170号においても拡幅する理由が増えることになり、工事の予算に勢いがつくのも期待ができる。その結果、道路が拡幅されれば、今の市民総合センターを利用されている方も安全に南中跡地の複合施設へ通うことができる。

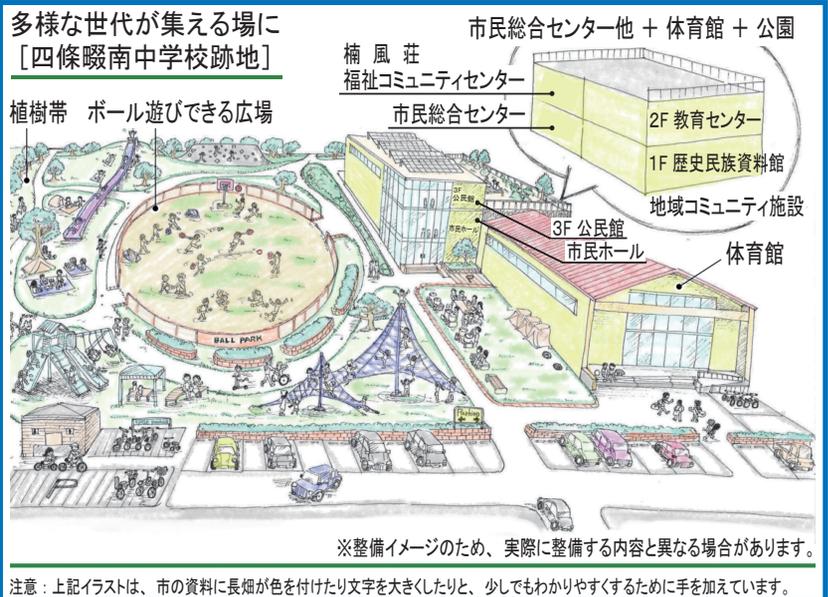
ただ、良くできていると市民皆様に感じて頂けるのは早くても10年後位で、現在、主にこれら施設を使用されている多くの方にとっては、これから先10年は不満でしかないのかも知れない。

そう考えると、現在の総合センターの耐震化や雨漏りがひどいのであれば屋根をつけるなど必要な工事をして利用する。713席の現市民ホールは、席数を500と減らし鑑賞するのに快適な椅子に変更、それに伴うホール内階段の調整工事をし多くの車椅子の方も利用できる様にする。また、ステージの奥行きを広くとり演ずる側も使い勝手を良くする。そこまでも、トイレや控室は数も広さも足りていないので駐車場側に増築も必要だが、建て替えよりはベストであると思う。

改めて現在の場所での考え方。予算の関係もあるが、主な理由は他市から市民ホールへ来られる方のことを考えれば駅から近い方が良いとの判断と、文化関連施設の集約化は良いが種類の違う施設との集約化には疑問を感じるからです。

（※1）それでも行政として、私の今後10年ぐらいまでの考えでは、集約化も含め将来建て替える必要があるのに改修や増築にかかる予算が無駄になると言われるのであれば、その具体的な理由を。（※2）また、計画通り南中跡地に市民ホールを建てる方が現状の忍ヶ丘駅から近いこと以上にメリットがあると判断されるのであれば、四條畷駅から市民ホールの間、コミバスを数多く走らせる等の対策は間違いなく必要であると思うが、この点については。

【総務部長答弁】（※1）短期的な視点に立つと、現状施設に改修を行い使い続ける認識は持っているが、今後の人口動態や財政収支見通しに基づき、さらに20年、30年、40年先を見据えれば、施設総量の最適化やコンパクトな市域に見合う再配置が必要との考えから、現在の南中跡地に複合施設を整備したいと現時点では考えている。（※2）多くの人が集まる公共施設には、その場所へのアクセスの良さが求められていると認識している。現在、コミュニティバス運行を含む公共交通のあり方について見直しを行っている最中にあるので、公共施設へのアクセスについても議論し、そのようなアクセスの良さを叶えていきたいと考えている。（裏面へ続く）



注意：上記イラストは、市の資料に長畑が色を付けたり文字を大きくしたりと、少しでもわかりやすくするために手を加えています。

毎月発行している“長畑ひろのり News”を、約半年ごとに送っています。送付の必要な方は、送付先を FAX もしくは e-mail にてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280
e-mail sky@nagahata.jp

<http://nagahata.jp>



【長畑質問】行政側の300席についての私の考え。これについては、場所は未定で建て替えを前提に話を進める。

現在の展示ホール、そこは固定椅子も固定ステージも無くいろいろな使われ方をしており、椅子を置けば100席程度になる。これまでの展示ホールの利用を見ていると『椅子を使った内容に関して、行政として300席のホールができた時にはそこを利用して頂きたい』と私は感じている。

そうすると新しいホールの利用率だが、現在、市民ホールを使いたいのが713席では広いので仕方なく100席程度の展示ホールを使っている、そういう方も利用されるのは間違いない。それらを考慮すると、713席より300席の方が利用率は上がる要素の方が多いと思う。

それでも300席は少なすぎる。今述べた展示ホールの利用者の方々にも使って頂く点を考慮すれば、先ほどの改修前での500席がベストと考える。そこで私の500席の提案だが、席を2階建てにすることで先に述べた考えを取り入れることができる。例えば、1階を350席、2階を150席にする。そうすれば、150人程度の入りでも2階部分を閉めてしまえば、演ずる側も見ている側も満席とまで言わないまでも半分程度は入っているように見えるのではないか。仮に100人程度の入りでも問題はないと思う。それよりも、現在の市民ホールの中央の廊下部分にロープを張って前の席しか使わせない、そんな対応をしなくても良くなる。

私の案は、延べ床面積は増えるが建築面積を考えれば行政側の300席と大差はない。敷地を考えた場合、無理な案ではないと思うので是非とも採用して欲しいが。

【総務部長答弁】現在の計画では、あくまでも300人規模といった表現で策定に臨んでいるところ。コスト計算においては全体的な最適化も命題ですので、検討を深める中で一つの参考事例として受け止めたい。

【長畑要望】今回の公共施設の個別施設計画も、先に行われた小中学校の統廃合と同じで、答えに100点満点がないのは誰もが理解していると思う。今後どういう計画が示されるのかわからないが、今まで以上に沢山の意見、行政側としてはクレームに聞こえる内容のものもあるかも知れない。しかし、どのような意見も本市が良くなる様に一生懸命市民の方が考えての事であるのは間違いありません。そこだけは忘れて頂きたい。大変ですが、多くの市民皆様の意見を少しでも同じ方向へ向かう様に努力して頂くことを要望する。

この半年、多くの方と四條畷市個別施設計画における施設再編について話をさせて頂きました。そして、9月定例議会を終えた今、私より次の内容を提案させて頂きます。

今まで南中や東小を避難所に指定されていた方の安全を早急に守るため、一刻も早く最低でも千人程度を収容できる規模の避難所を兼ねた施設を南中跡地に建設する。

その施設の中に市民ホールを含めるのであれば、席数を300より500程度に増やす。その場合においても、既存の713席ある現市民ホールは残す。しかし、東中野交差点以南の旧国道170号道路整備が完了し安全に新しい市民ホールへ通うことができる、もしくは、現市民ホールの利用者が著しく減った時には、存続について再検討する。

1718市町村における本市実力

今号も東洋経済が発行している「都市データバック」より。今号は前号の812市区内での本市実力ではなく、792の市に北方領土に所在する6村を除く926町村も対象に加えた順位となります。



・強い街ランキング

強い街ランキングは、収入柱たる複数の産業があるか(産業)、産業からの収入が財政に貢献しているか(財政)、人口、特に年少・生産年齢人口は増加しているか(人口)の3つの視点から算出しています。

本市は特に産業の順位(1605位)が問題です。この産業の算出指標は5項目ありその内の3項目の順位ですが、人口当たり農業産出額は737位、人口当たり製造品出荷額等717位、人口当たり卸売業年間販売額687位と厳しい結果になっています。

総合順位	市名(都道府県)	産業の順位	財政の順位	人口の順位
1	刈谷市(愛知)	2	11	61
2	忍野村(山梨)	199	6	2
3	豊田市(愛知)	1	4	168
4	昭和町(山梨)	5	27	27
5	大口町(愛知)	35	21	20
511	守口市(大阪)	530	922	340
524	枚方市(大阪)	1200	281	600
617	寝屋川市(大阪)	444	491	816
640	門真市(大阪)	96	1096	730
661	四條畷市(大阪)	1605	458	577
697	大東市(大阪)	1108	598	659
822	交野市(大阪)	1617	990	487
1716	歌志内市(北海道)	1699	1655	1716
1717	赤平市(北海道)	1508	1716	1686
1718	夕張(北海道)	1027	1718	1701

